

事業の背景・目的

栃木県においてサクラ等に被害を発生させ、その生息域が拡大しているクビアカツヤカミキリについて、栃木県クビアカツヤカミキリ被害対策協議会防除方針に基づき県内で効率的、計画的な防除を進めるため、緊急的な防除の実施に必要な資機材の配備、県民等に対して防除方法等を周知する研修の開催、県全域の監視ポイント等における被害確認調査の実施を行う。また、被害地域の拡大防止及び縮小に向け市町と連携し対策を実施する。



クビアカツヤカミキリにより
枯死したサクラ

事業の内容

防除に必要な資機材を県に配備する等により、各防除主体が迅速に防除を実施した。

ア 防除事業

- ・被害発生地域の外郭からの緊急的、計画的な防除を行うための樹幹注入剤・注入器等、殺虫剤（スプレータイプ）、ネット巻用資材を、被害市町及び県出先事務所に配備した。
- ・被害地外郭において被害木の伐採を実施した。

イ 普及啓発事業

- ・クビアカツヤカミキリの生態や被害対策に関する研修を6回実施した。
- ・チラシ40,000部、防除マニュアル5,000部を印刷して、県内市町に配布した。

ウ 被害状況監視事業

- ・県内全域に設定された監視ポイント計191箇所において、監視を実施した。
- ・被害発生状況確認調査（委託）を実施した。



現地研修の様子

得られた成果

被害外郭部において、配備された資材を活用して個人宅等の庭木への薬剤注入やネット巻等の防除及び被害木所有者への防除指導を実施した。また、被害地域の被害木の伐採を行った。これらにより、被害地域外郭から被害木を減少させることができた。

注意喚起チラシ及び防除マニュアルは、今後の普及啓発と防除指導に活用するため、関係機関及び市町に配布済みである。

本事業を活用したことにより、クビアカツヤカミキリの生態や防除方法の普及啓発が進み、被害地域においては薬剤の使用やネット巻が浸透し、被害地域外においても警戒が行われている。

今後は、令和5年3月に改定した栃木県クビアカツヤカミキリ防除方針に基づき、県内市町を連携し効率的な防除を実施する。